



国民の森林・国有林

林野庁
中部森林管理局

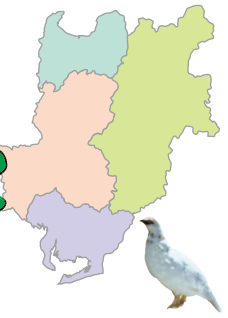
〒380-8575 長野市大字栗田715-5

☎050-3160-6513

<http://rinya.maff.go.jp/chubu/>

広報

中部の森林



黒部ダムの勇壮な放水

林政記者クラブ 国有林を視察

主な項目	○ 林政記者クラブ国有林を視察.....	P2
	○ 各地からのたより.....	P3
	○ シリーズ「森林官からの便り」.....	P5
	○ シリーズ「ご当地自慢」.....	P6

林政記者クラブ 国有林を視察

【総務課】九月二十八日から二十九日の両日、林政記者クラブ（中部森林管理局管内加盟社）の国有林視察を富山森林管理署管内で実施しました。

当日は、林政記者クラブ四社から四名が参加され、森林管理局からは次長、総務企画部長、名古屋事務所副所長、広報主任官が同行しました。

一日目は、黒部ダムとアルペンルートを通って雄大な大自然と黒部ダムを視察しました。周辺は長野、富山両県にまたがる国有林が広がっており、水や国土の保全、観光面について国有林の果たす役割のアピールを考えていたのですが、雨と濃霧で景色が見えない分想像力を発



木村次長の挨拶により開会

揮していただくこととなりました。

中信森林管理署に集合した一行は、次長の挨拶後バスでスタート、車中で自己紹介を行いトローリーバスの出発駅、扇沢に着きました。ここで関西電力職員の方より黒部ダム等について説明を受け、自然にやさしいトローリーバスで黒部ダムへ向かいました。



黒部ダム等の説明

富山森林管理署次長、森林技術指導官、森林官と合流し昼食、私はかの有名な「ダムカレー」をいただきましたが大変美味しかったです。



ダムカレー
(グリーンカレー)

幸なことに、食事を終え外に出ると雨が小降りになっておりダムを見ながら関西電力

職員の方の説明を聞き、ダムの雄大さに触れることができました。しかし、残念ながらこの後は、濃霧と雨が激しくなり立山ロープウェイ、大観峰は真っ白で何も見えず、室堂でも雨が強く危険なため立山自然保護センターで立山の自然を紹介したビデオを鑑賞し、森林官から山岳観光地ならではの巡視業務の難しい点などについて話を聞きました。



大規模な山腹施工地の説明状況

記者の方々は、山腹工の規模の大きさや工法に興味をもたれ、説明者二名に質

問が相次ぎました。次の溪間工では、木製型枠や規模の大きさ、コンクリートの代わりに現地産の大転石使用や、現地の作業環境の過酷さに感嘆しきりでした。



溪間工の説明状況（本年度は2年目で作業は終了）

生憎の空模様でしたが、どうか予定どおり視察が実行でき記者クラブの皆様から多くの質問もいただき有意義な視察となりました。終わりに、総務企画部長より視察参加のお礼と共に、国土の保全や地域林業の活性化のために国有林の取組に引き続きご協力をいただくことをお願いして散会となりました。

今後もこのような機会を設け、中部森林管理局の取組を紹介し、ご理解を得るため効果的な情報発信に努めていきたいと考えています。

地域のボランティアと共に！
熱田区区民まつりに出展！

「名古屋事務所、木曾ふれあい推進センター、協力・岐阜署」街道でつながるひと・まち・未来』をテーマに、十月九日「熱田区区民まつり（主催：熱田区役所、区民まつり実行委員会、出展四十九団体）が中部森林管理局名古屋事務所に隣接する白鳥公園において開催され、名古屋事務所も出展参加するとともに木曾森林ふれあい推進センターやボランティアの協力を得て「熱田白鳥の歴史館」を特別開館しました。



混雑した出展ブース（第1会場）

東海道や美濃街道をつなぐ交通の要衝として多くの旅人で賑わっていた熱田は、街道宿場町としての歴史文化の魅力の発信に取り組みされており今年の区民祭



歴史館でのミニ椅子作り（第2会場）

りには、東海道から桑名、鳴海、宮、美濃街道から垂井、木曾川上流地域から木曾（広域連合）、加子母、下呂の七つの宿場町（地域）から参加され、楽しさ美味しさ溢れる賑やかなブース、お獅子の練り歩きや、和太鼓の音が響くステージイベント、区制八十周年プレイベントの「大声コンテスト」など盛りだくさん催され、およそ一万一千人の市民（主催者発表）が訪れました。

名古屋事務所では「木とのふれあい」をテーマに、第一会場の出展ブースでは「サクラ」の枝を使ったストラップ作りを、第二会場である「熱田白鳥の歴史館」ではミニイス作りのコーナーを開設し、ボランティアグループ FCA（フォレストサークルあいち）の方々十一名の協力を得て対応しました。

各地からのたより

地域を担う高校生が 国有林の現場を見学

【東濃署】八月三十一日、前日の台風の影響も無く快晴の中、岐阜県立恵那農業高等学校環境科学科の三年生、三十八名が東濃森林管理署管内の国有林で治山工事現場などの見学を行いました。

これは近年、局地的な豪雨などによる山地災害が各地で頻発する中、地域の未来を担う高校生に森林土木について理解を深めていただき、また進路決定の参考にしていただくという一昨年より始めた取組です。

当日は、教室で国有林の役割や治山工事の目的・工法等について東濃署治山グループの職員から事前説明を受けた後、

ブースでは待ち時間が出るほどの盛況で、子供から大人まで三百人がストラップ作りを、歴史館のミニ椅子作りでは限定四十人分の整理券が十数分で無くなりました。参加された方々は、完成品の成果に一喜一憂しながらも「ありがとう」「楽しかった」歴史館では「木に囲まれて落ち着く」「知人を連れてまた来ます」といった声も聞かれ、木（樹）とのふれあいを堪能していました。

今後も、地域と連携し情報発信に努めます。



教室での事前学習

湯舟沢国有林（中津川市神坂）に移動し、恵那山（二、一九一）の北側斜面の崩壊地で実施されている姥ナギ沢旧治山工事の現場を見学しました。

同現場では、崩壊斜面の上部に登り、署員から、山腹工事の方法などについて説明を受けました。生徒たちは、谷底まで四〇〇以上程もある斜面を眼下にして実際に使われたロッククライミングマシン（急斜面にワイヤーで吊され崩壊地を整齊する建設機械）の写真に見入り、普段目にするのではない治山工事のスケールを実感したようでした。

午後は、同国有林内の造林事業実行箇所において、神坂首席森林官から、林業は農業と違い、収穫までに最低でも五十年～六十年程度の年月と労力を必要とす

ることや、ニホンジカをはじめとした有害鳥獣による森林被害が年々深刻化しておりその対策は急務となっていること、また国有林で実施している鳥獣被害に対する取組等の説明を聞きました。



姥ナギ沢復旧治山工事施工地上部より見学

見学を終え、生徒からは、標高一、四百メートルという厳しい環境の下で行われている治山工事を目の当たりにし、「急斜面を命綱だけで作業していることに驚きました。」「普段見ることのできない治山工事現場や林業の現場を見学することができ、貴重な体験ができました。」といった感想が聞かれました。

当署としては、地元高校生が林業や森林土木に対し関心を持ち、理解を深めていただくことができるよう、今後も同様の取組を進めていきたいと考えています。

「漁民の森林づくり活動」 漁業関係者による森林整備を実施

【愛知所】十月四日、設楽町田峰地籍にある段戸国有林において「漁民の森林づくり活動」を実施しました。

段戸国有林は、三河湾に注ぐ豊川と矢作川の水源域に当たることから、「森林を守り育てることが三河湾の漁業振興に繋がる」として、蒲郡市を中心とした漁業関係者が参集して平成十四年から森林整備を継続的に行っており今年で十五年目となります。

当日は、漁業関係者の三谷漁協、蒲郡漁協青年部及び三谷水産高校海洋資源科一年生、連携団体の愛知県東三河農林事務所、蒲郡市及びNPO法人「穂の国森



シロモジ等除伐作業



除伐木を短くして整理作業

づくりの会」の関係者と当所職員約百名の参加のもと、平成十四年にブナなどの広葉樹を植栽した森林において植栽木の生長を妨げるシロモジ等を除伐する作業を実施しました。また、この活動に先立ち三谷水産高校においては当所の職員を講師に、森林の有する公益的機能や森林と海の関わり（森林から海へ到達する水はプランクトンの栄養源となり、食物連鎖で豊かな漁業資源となる。）等についての勉強会も行いました。

参加者からは、「森林の大切さがよくわかった。」「貴重な体験をすることができた。」「今後も若手漁師らが引き継いでほしい。」「との感想をいただき、来年以降も豊かな森林、豊かな海づくりのために、本活動を実施していくことを確認しました。

当所としては、「海」と「森」の関係者が密接な結び付きを持った森林整備を

今後も継続できるように取り組むとともに、今回の活動を通して国民参加の森林整備の必要性等についての情報発信に繋がることを期待しているところです。

行事・会議等の予定

◎平成28年度木曾悠久の森管理委員会
第2回森林総合利用・地域振興専門部会

11月1日 中津川市内

◎中部エネルギー・温暖化対策会議

11月4日 名古屋

◎信州地域材利用拡大推進協議会

11月7日 長野市内

◎国有林野等所在市町村長有志協議会
(木曾川流域：東濃)

11月8日 中津川市

◎東海・北陸地区林業用種苗需給調整協議会

11月8日 三重県津市

◎第51回全国木材産業振興大会

11月10日 富山市

◎平成28年度木曾悠久の森管理委員会
第2回森林資源利用専門部会

11月15～16日 南木曾支署管内

◎国有林野等所在市町村長有志協議会連絡会議（中部森林管理局）

11月21日 松本市

◎多様な森林への誘導 現地検討会

11月28～29日 飛騨市・東濃署



「南木曾支署須原森林事務所」

森林官 林 英樹

須原森林事務所は、長野県の西部に位置する木曾郡大桑村にあり、管轄する国有林野は、村内を流れる木曾川右岸側殿地区の阿寺国有林と、左岸側の伊奈川国有林のおよそ二二、二〇〇haがあります。阿寺国有林には分収育林地が多く、二十七の小班で一四四haが設定されています。



管内林道より中央アルプスを望む

管内の森林は多様性に富んでいて、右岸側は阿寺山地の比較的なだらかな地形でヒノキの生育に適しているのに対して、左岸側は日本百名山に選定され

ている中央アルプス空木岳（標高・二一八六四m）の山麓を中心に低山帯から高山帯までの標高差約二、〇〇〇mに及ぶ急峻で変化の激しい原始的で多様な生態系の森林を形成しています。

管内には空木岳の他にも、二百名山の南駒ヶ岳（標高・二、八四二m）、三百名山の越百山（標高・二、六一三m）等が連なっており、各登山道（大桑村貸付）へは、アクセスの利便性等から、東海地方などからの登山者が訪れています。

地元である須原地区には、木曾谷の中では一番古くに栄えた歴史ある宿場町の「須原宿」があります。当初は木曾川沿いに町割りされていましたが、正徳五年に大洪水の被害に遭い、現在の場所に移築されたため、中山道では比較的新しい宿場町なので、道路の幅が広いなどの独特な雰囲気を持っています。宿場町の中程には、鳥崎藤村の「ある女の生涯」の舞台となった「清水病院跡」（建物は愛知県犬山市の明治村に移築）や正岡子規の歌碑などが建立されています。

また、木曾三太寺最古の古刹である「定勝寺」については、本堂、庫裏、山門の三建築は、桃山風の豪壮な建築様式として国の重要文化財に指定されるとともに、長野県宝に指定されるとともに、長野県宝に指定されている「木曾義元肖像画」などの寺宝も多く所蔵されており、書院の千羽鶴の壁画や東洋一の木曾檜ダルマ座像は見応えがあります。当森林事務所の職員は森林官一人です



定勝寺の庭園風景

が、森林体験、境界巡検、生産・造林請負事業の監督、各種調査や巡視などの業務を効率的に行うためには、隣接する阿寺森林事務所の職員（森林官一名、森林技術員一名、行政専門員二名、非常勤職員一名）との連携は欠かせない状況にあります。特に森林技術員等の方々には、境界森林保全巡視はもとより、人工林ヒノキの熊剥皮被害防止ワイリーテープを巻くなどの、獣害防止対策にも取り組んでいただいています。

これらの業務を進める上で最も重点をおいていることは、過去の災害事例を踏まえた安全確認と基本動作の徹底です。特に、今年度の分収育林地の明認行為箇所は遠路が多く、足場の悪いところも



ワイリーテープ施工中

あるので、足場、足元の確保に努め、慎重に行動することを心掛けています。これからの季節は、朝晩と昼の寒暖差や天候の変化も激しくなることから、安全対策を遵守し、無事故・無災害で業務を進めていきたいと考えています。



支署長等と貸付地の巡視（向って右側著者）



◆大町市

大町市は、長野県の北西部に位置し、市の北西部には北アルプスの雄大な山々がそびえ立っており、夏は登山、冬はスキーが楽しめる観光客や登山客で年間を通して賑わっています。

市の西側に観光スポットが多くあり、黒部ダムへの入口である扇沢駅、天然記念物の湯俣墳湯丘、針ノ木大雪渓があります。

市の北側はスキーや釣りが楽しめる鹿島槍スキー場、ヤナバススキー場、青木湖、木崎湖があります。

【扇沢駅】

扇沢駅は、後立山連峰の大自然に囲まれた黒部ダムや、爺ヶ岳、針ノ木岳への出発点となっており、標高一、四三三メートルの高地に位置し、七〇〇台を超える自動車を収容できる駐車場を完備しています。

この駅はトロリーバスで黒部ダムへ通じており、長野県と富山県を結ぶ黒部立山アルペンルートの中継点として、年間

百万人の観光客が利用しております。

このトロリーバスは、どこにでもあるようなバスを使用していますが実は鉄道に区分される珍しい乗り物で、国内唯一であり、関電トンネルと立山トンネルで運行されています。

【針ノ木大雪渓】

日本三大雪渓の一つである針ノ木大雪渓は夏にはほとんど消えてしまいが、春は大雪渓を通りながら針ノ木岳へ約四時間の登山を楽しめます。



爺ヶ岳付近から望む針ノ木岳

【高瀬渓谷】

高瀬川には、東京電力の高瀬ダムがあり、その上流には墳湯丘（高瀬渓谷の墳湯丘と球状石灰石）があります。

高瀬ダムは黒部ダムに次ぎ日本第二位の一七六メートルの高さを誇る巨大なロック

フィルダムです。その上流に、大正十一年に国天然記念物に指定された墳湯丘があり、高瀬川と水俣川の合流点近くに位置し、高瀬ダムから徒歩約二時間程度で行くことができます。

この墳湯丘は常に温泉が中心部から噴出し、未だに成長しており墳湯丘の出来上がる様々なステージを観察することができます。



墳湯丘（球状石灰石）

【大町山岳博物館】

この博物館はメインテーマを「北アルプスの自然と人」とし、山岳文化と人のつながりを探求した国内有数の博物館となっています。

ここでは様々な動物を飼育しています。特に珍しいのはスバルバラライチョウとニホンライチョウの二種類を飼育しているところです。



ニホンライチョウ

スバルバラライチョウは、ニホンライチョウの保護増殖に寄与するための繁殖技術の確立を目的として飼育されており一般公開もされています。

ニホンライチョウは、環境省が「ライチョウの保護増殖事業」の一環として日本動物園水族館協会と連携してニホンライチョウ生息域外保全に取り組んでおり、平成二十七年から個体数が比較的安定している乗鞍岳から卵を採取し、博物館の動物園で人工ふ化・飼育を開始しています。

アクセス方法

【交通機関】

扇沢駅…JR大糸線信濃大町駅下車（路線バスで四十分）

大町山岳博物館…JR大糸線信濃大町駅下車（徒歩二十五分）